

教育学習支援センター NEWS LETTER

教育学習支援センターの紹介

○学生の主体的な学びを促進し、学修経験を生み出す環境づくりを支援します！

2020年4月、本学に「教育学習支援センター」(Center for Academic Practice and Resource)が設置されました。

中央教育審議会の「2020年4月に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」において、2020年の展望と高等教育が目指すべき姿として、「学修者本位の教育への転換」が示されています。また、「学修者が「何を学び、身に付けることができるのか」を明確にし、学修の成果を学修者が実感できる教育を行っていること」が明示されています。そして、「学び」の質保証の再構築として、全学的な教学マネジメントの確立が示され、これを実現するためには、アクティブラーニングの活用や授業科目の精選を通

じて、密度のある主体的な学修を提供できる環境を整えると共に、学修成果の可視化等を通じて学生自身も学修の成果を実感できるような仕組みを提供する必要があります。

そこで、「教育学習支援センター」では、学生の主体的な学びを促進するとともに、学生自身が学修の成果を実感できるよう、意義ある学習経験を生み出す大学環境づくりを積極的に支援していきます。

【参考】

教育学習支援センターHP (随時更新中)
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/capr>

イベント・行事の開催

🗨️ 学生スタッフによる「新入生懇話会」を開催しました！

2020年11月17日・18日の2日間、教育学習支援センターが主催する「新入生懇話会」を開催しました。

この「新入生懇話会」は、今なお新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大が続くなかで、新入生が大学での日頃の学修や生活上の悩みや相談を気軽に話せる機会となるよう、教育学習支援センターの学生スタッフ自らが企画し、実施した初めてのイベントになりました。

「新入生懇話会」に参加したのは、文学部、教育学部、法学部、理学部、工学部の学部1年生、人間社会科学研究科、先進理工科学研究科

の博士課程前期・博士課程後期の1年生で17人です。

学生スタッフによる司会進行のもと、5~6人のグループに分かれ、交流を深めました。ゲームを取り入れた自己紹介を皮切りに、広大生として初めてのひとり暮らしのこと、休日の過ごし方や地元の紹介などのテーマトークで盛り上がり、楽しい時間となりました。

これからも教育学習支援センターでは、学生スタッフが企画・開催するイベント・行事を継続的に行っていく予定です。



○教育学習支援センターの活動に参画する学生スタッフを紹介します！

- 氏名：権藤 暁則（ゴンドウ アキノリ）
- 所属：理学研究科数学専攻
- 専門分野・研究領域：微分幾何学

●なぜ広島大学を選びましたか？

学部に関しては、後期試験で得意科目が揃っているという理由で受験して進学しました。実を言うと、受験生時代は数学を専門にするなんて思ってもいませんでした。しかし、大学で数学を学んでいくうちに数学の美しさに触れ、自分も研究に携わってみたいと考え、修士課程、博士課程と進学しました。広島大学には十分な資料が利用できる数学図書室、各分野で顕著な業績を挙げておられる先生方、他大学との交流など、数学の研究にあたり非常に恵まれた環境であると感じています。



- 氏名：康 凱翔（コウ ガイショウ）
- 所属：教育学研究科高等教育学専攻
- 専門分野・研究領域：高等教育学



●なぜ広島大学を選びましたか？

広島大学は自然が豊かで安らぎの場所だと思います。大都市の賑わいから離れて、安心して研究できますし、夜空も意外ときれいです。広島大学に来てから、「留学生の学習」に焦点を当て日本人学生とうまく会話できない」、「グループワークの沈黙は耐えられん」などの問題にも着目しています。学習に関する話はなんでも相談できる所があればいいなと感じて、今は教育学習支援センターで学生スタッフを務めています。困り事があれば遠慮なく来てね。

- 氏名：中村 大樹（ナカムラ ダイキ）
- 所属：教育学研究科数学専攻
- 専門分野・研究領域：科学教育方法学

●なぜ広島大学を選びましたか？

研究環境が充実していることに魅力を感じて広島大学を選びました。自分の専門分野では広島大学出身の研究者が多く活躍していることも影響しました。



- 氏名：成利楽（セイリラク）
- 所属：教育学研究科
- 専門分野・研究領域：日本語教育学、教師教育学分野

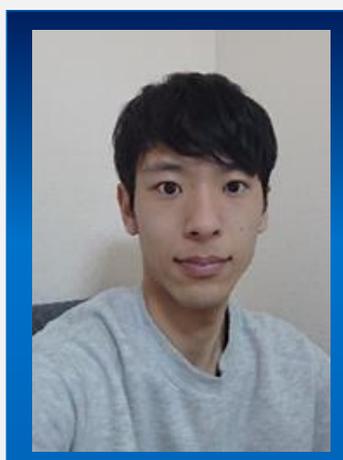
●なぜ広島大学を選びましたか？

学部生として山口県にある大学で交換留学をした時、よく周りの人から「広島大学。。。広島大学。。。」と、色々と広島大学に関する噂を聞いていました。当時の私にとってすごく神秘感のある大学でした。

また、大学院に進学する予定があったため、色々調べた結果、広大の日本語教育学専攻に幅広い分野の先生がいらっしゃることを知りました。そのなかで、特に今の指導教員の研究分野である「評価法」に惹かれて、広大で日本語教育の評価法について勉強することを決心しました。



- 氏名：内田 圭佑（ウチダ ケイスケ）
- 所属：人間社会科学研究科教育科学専攻教育学プログラム
- 専門分野・研究領域：教育行政学



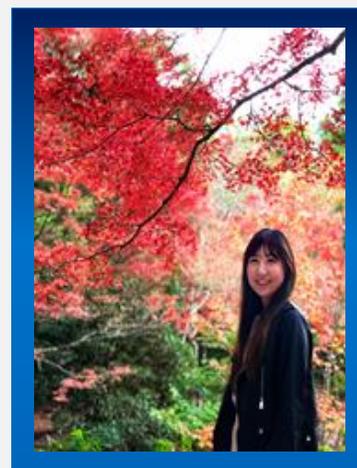
●なぜ広島大学を選びましたか？

まず、日本において教育学の研究を主導してきた大学であり、教育学分野内のさまざまな領域の研究室が設置されており、専門分野外のことも学べ、交流ができるからです。また、カナダにおける教育制度と移民の教育という自身の研究テーマと完全に一致していないところがありますが、近いテーマを専門とする先生の中で師事したい先生がいらっしゃることも、広島大学を選んだ理由の一つです。

- 氏名：劉 燦（リュウ シャク）
- 所属：社会科学部研究科社会経済システム専攻
- 専門分野・研究領域：経済学、マクロ経済学分野

●なぜ広島大学を選びましたか？

大学を選ぶことは恋人を選ぶことと同じでしょう。「天の時・地の利・人の和」であり、それは運命と呼べるかもしれません。実は私の心の中には他にも気になる大学がありました。しかし、その大学への入学手続きに問題が起こり、入学するには半年間待つ必要がありました。そこで、もう一つの気になっていた広島大学に入学することにしました。第一希望ではありませんでしたが、広島大学を選択したことは私にとって最高の結果をもたらしてくれました。広島大学のキャンパスは美しく、支援室のスタッフの方は熱心で信頼でき、教員はさまざまなスタイルを持っています。このような環境に恵まれ、大学生活を送っていく中でいつの間にか目の前の風景が大好きになって離れたくなりました。広島大学は最高の5年間を過ごさせてくれました。広島大学でのキャンパスライフへ導いてくれた運命に感謝します。



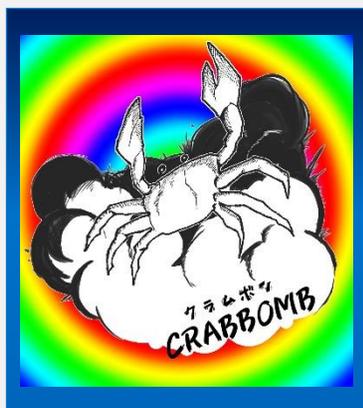
- 氏名：劉 苗苗（リュウ ビョウビョウ）
- 所属：総合科学研究科言語情報科学専攻21世紀プログラム群
- 専門分野・研究領域：日本語言語学

●なぜ広島大学を選びましたか？

北京第二外国語大学に進学して、ダブルディグリーのプログラムに頑張っ合格して、ようやく広島大学に留学することができました。私は将来、大学教員を目指して日本語を勉強しています。大学を卒業後、一度日本語の教師をしていました。教師をしている間、自分の力不足を強く実感しました。広島大学は、学習の雰囲気も良く、四季の景色も美しく、すごく居心地のいい大学だと思います。ここでは、自分の夢を叶えるために一緒に頑張りましょう。



- 氏名：梶浦 大起（カジウラヒロキ）
- 所属：理学研究科
- 専門分野・研究領域：数学、組合せ論



●なぜ広島大学を選びましたか？

私は高専から3年次からの編入で、せっかくだから興味のあることを専門に研究されている先生のもとに行こうと思い、興味のある研究をされている先生がいらっしゃる広島大学に来ました。（周囲にはほぼノー相談できたので結果が決まるまでヒヤヒヤされたことかと思えます.....）

今後の活動の予定

日頃の学修にかかわる相談を学生プラザ1階で開始します！

このたび、教育学習支援センターでは、日頃の学修で悩んでいること、困っていること、誰に話していいか分からないことなどを気軽に相談できる窓口を設置することになりました。オンライン授業が急増し、授業や履修のこと、単位の取り方、レポートや試験のことなど学生スタッフに相談できます。窓口で相談できる学生スタッフは、TFかQTAの資格を持っています。また、TAの経験もあり、留学生の学生スタッフも多くいます。

詳細は、教育学習支援センターHP (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/capr/news/61869>) をご覧ください。ぜひ気軽にお越しください。



【問い合わせ先】

広島大学 教育学習支援センター

【連絡先】

Email: capr@hiroshima-u.ac.jp

【編集後記】

教育学習支援センターのニューズレターの創刊号をお届けします。引き続き、学生スタッフの活躍の様子やイベント等のご案内をしてまいります。（センター協力教員：蝶 慎一）